

令和7年度 園 評 価

大垣市立すもと保育園

【園の教育目標】
心身ともに健康で明るく思いやりのある子
・元気に体を動かす子
・思いやりのある子
・夢中になって遊ぶ子

【令和6年度の園評価より】
・子どもの興味関心に寄り添いながら、主体的に活動できる環境構成の工夫や援助の在り方を検討する。
・相手の思いに気づいたり、話を傾けたりすることができるように援助する。
・おたよりやドキュメンテーションの内容に活動のねらいや意味も加え、保護者に分かりやすく情報発信していく。
・日々の安全点検を行ったり、災害時における安全な避難方法を常に意識したりして、全職員で危機管理意識を高める。

4段階評価 ○保育者 ☆関係者 ●課題

観 点	短期目標	自己評価	保護者評価	評価及び意見の概要
支 保 え 育 る ・ 基 礎 幼 盤 児 の 教 育 強 化 を	危機管理 ・様々な場面や状況を想定し 危機管理意識をもって未然 防止に努める。	3.4	3.6	○様々な場面を想定した命を守る訓練を行い、反省や改善策を職員間で共有することで、臨機応変に対応することができた。 ○怪我の報告や改善点を全職員で周知し、再発防止への意識づけができた。 ☆想定外のことを考え様々な状況の訓練ができたことは大変良いと思う。全職員でリスクを共有していくことを今後も続けてほしい。 ☆小学校でも「自分の命は自分で守る」という合言葉のもと子ども達に話している。園の先生方も子ども達の命を守るために、訓練等の反省から現在のものを改善して次へ繋げられていることがすばらしい。 ●命を守る訓練への身構えが見られた。いつ起こるか分からない災害に対しての訓練となるようにする。
保 育 ・ 幼 児 教 育 の 充 実	健康な体 つ くり 【元気に体を動かす子】 ・規則正しい生活習慣が身に付く。 ・保育者や友達と一緒に十分に体を 動かして遊ぶ。	3.7	3.8	○園外保育や運動遊びを通して、子どもが意欲的に体を動かし、繰り返し運動に取り組む姿が増えた。 ○生活リズムカードを取り組むことで、朝食を摂る大切さや睡眠時間など親子で意識するようになった。 ☆参観をしても子どもたちが楽しんで体を動かす姿が見られた。仲間で取り組む遊びを取り入れているので良い。 ☆生活リズムカードは小学校でも行っている。今年は、メディアコントロールを冬休みにしたが、家庭の協力が得られた。きっと保育園で生活リズムカードに取り組んでいるからだと思う。 ●生活リズムを身に付けられるよう、子どもへの働きかけと保護者の意識向上のための手立てが引き続き必要である。
	社会 的 発 達 【思いやりのある子】 ・相手の思いに気づいたり、話に 耳を傾けたりすることができる。 ・様々な人と関わる楽しさを味わう。	3.5	3.6	○園庭では、様々な年齢の子と一緒に遊ぶことで異年齢の関わりを楽しむことができた。 ○保育者が仲間との関わり方の見本となって示したり、仲立ちを行ったりすることで相手の思いに気づき、受け止めようとする姿が育ってきている。 ☆保育者の姿は大切な手本になるので今後も続けていってほしい。自分のことばかりでなく、相手の気持ちも考えられるようになるとよい。 ☆コミュニケーションの力を保育園でつけておいてもらえると、小学校で集団が大きくなってからもトラブルが少ないと思う。 ●集団の中で、相手の話に耳を傾けて聞く経験をさらに積み重ねていく。
	精 神 的 発 達 【夢中になって遊ぶ子】 ・自分の好きな遊びを見つけて主体的 に遊ぶ。 ・試したり、工夫したりして繰り返し 遊ぶ。	3.6	3.7	○子どもの興味関心に沿った環境構成の工夫をすることで、保育者や友達と楽しみながら、活動の最後まで意欲的に取り組む姿が見られた。 ○他クラスの保育を見たり、子どもの育ちについて共に考えたりしていくことで、子ども理解に繋がり、自分の保育に活かすことができた。 ☆小学校でも主体的に取り組む姿勢を大切にしている。保育園のうちに自分からどんどん挑戦する力を培ってもらえていてありがたい。 ☆園内研での話し合いは、保育内容を高めるチャンスである。一人一人の先生の資質を高めるためにも継続してほしい。 ●年齢の発達に合った活動、環境づくりができるよう職員間での話し合いから発達の理解を深めることが必要である。
子 育 で 支 援 の 充 実	地 域 保 護 と 者 の 連 携 ・保護者に園の様子を分かりやすく 発信する。 ・子どもの育ちについて共に支える。	3.8	3.6	○クラスだよりには、活動のねらいや「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した見出しをつけ、子どもの様子や成長を保護者に伝わりやすいように工夫することができた。 ○登降園時に園での活動の姿を伝えていくことで、保護者との信頼関係を築き、共に子どもの成長について話し合うことができた。 ☆配信がとても早く分かりやすい。毎月のおたよりにもクラス毎の目標やできたことが分かりやすく伝えられている。 ☆保護者との連携は、子どもを育てる上での土台である。今後も、具体的に伝えて努力してほしい。 ●早朝・延長保育利用児の保護者とは、担任とのやりとりが少なくなりやすいので、情報共有の時間の確保が課題である。

【次年度に向けて】
・命を守る訓練は、いつ起こるか分からない災害に対しての様々な想定で行い、どの職員も災害時の対応について関心をもち考える場となるようにしていく。
・自分の思いを伝えるだけでなく、相手の思いにも気づいたり、話を傾けたりできるような援助をしていく。
・子どもが主体的に遊びを選び、試行錯誤しながら取り組めるよう環境構成や教材、援助の工夫をしていく。
・年齢に合った活動、環境構成や援助ができるよう職員間で保育を見合い、話し合いから学びを深め資質向上を図る。